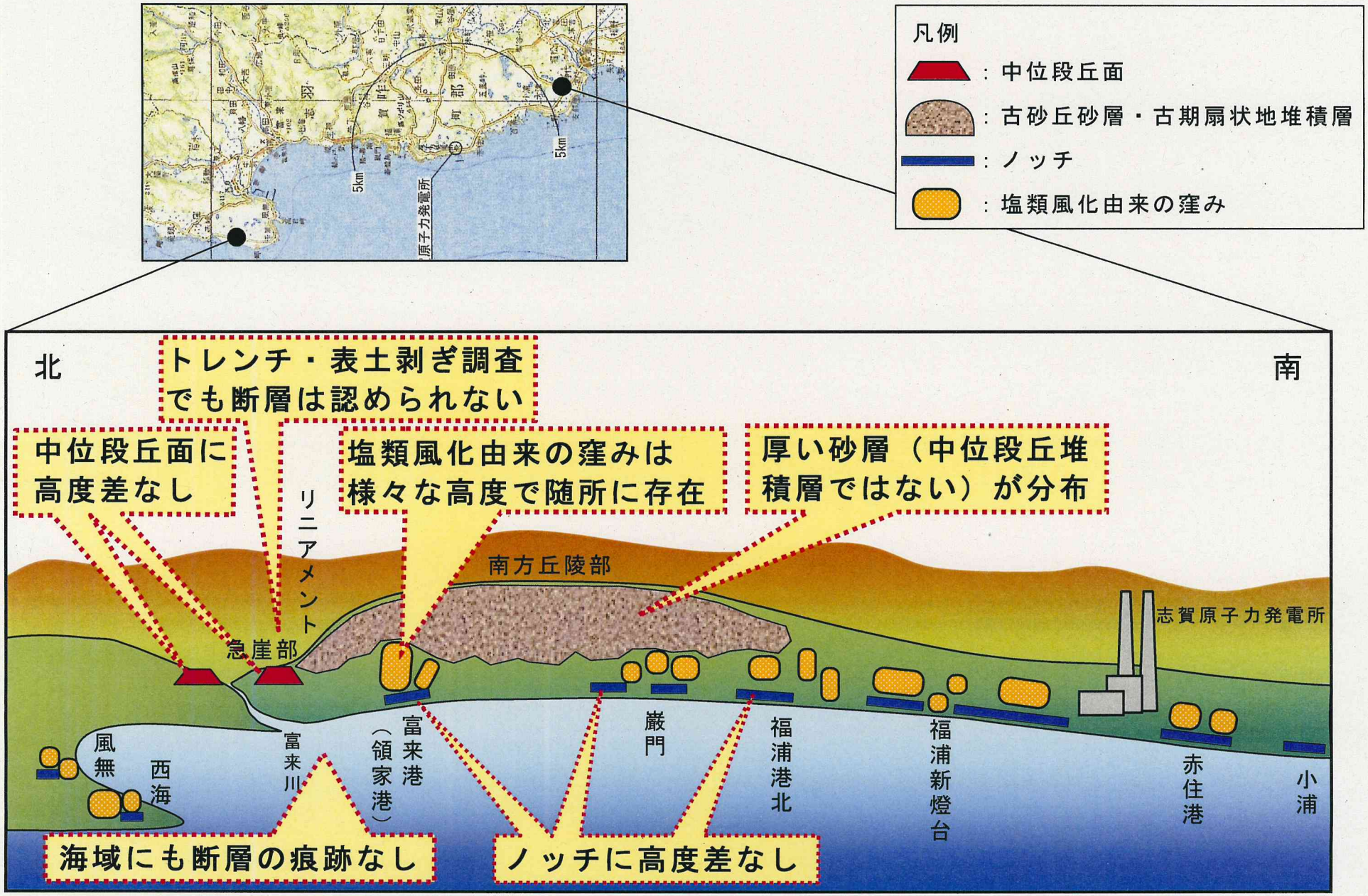
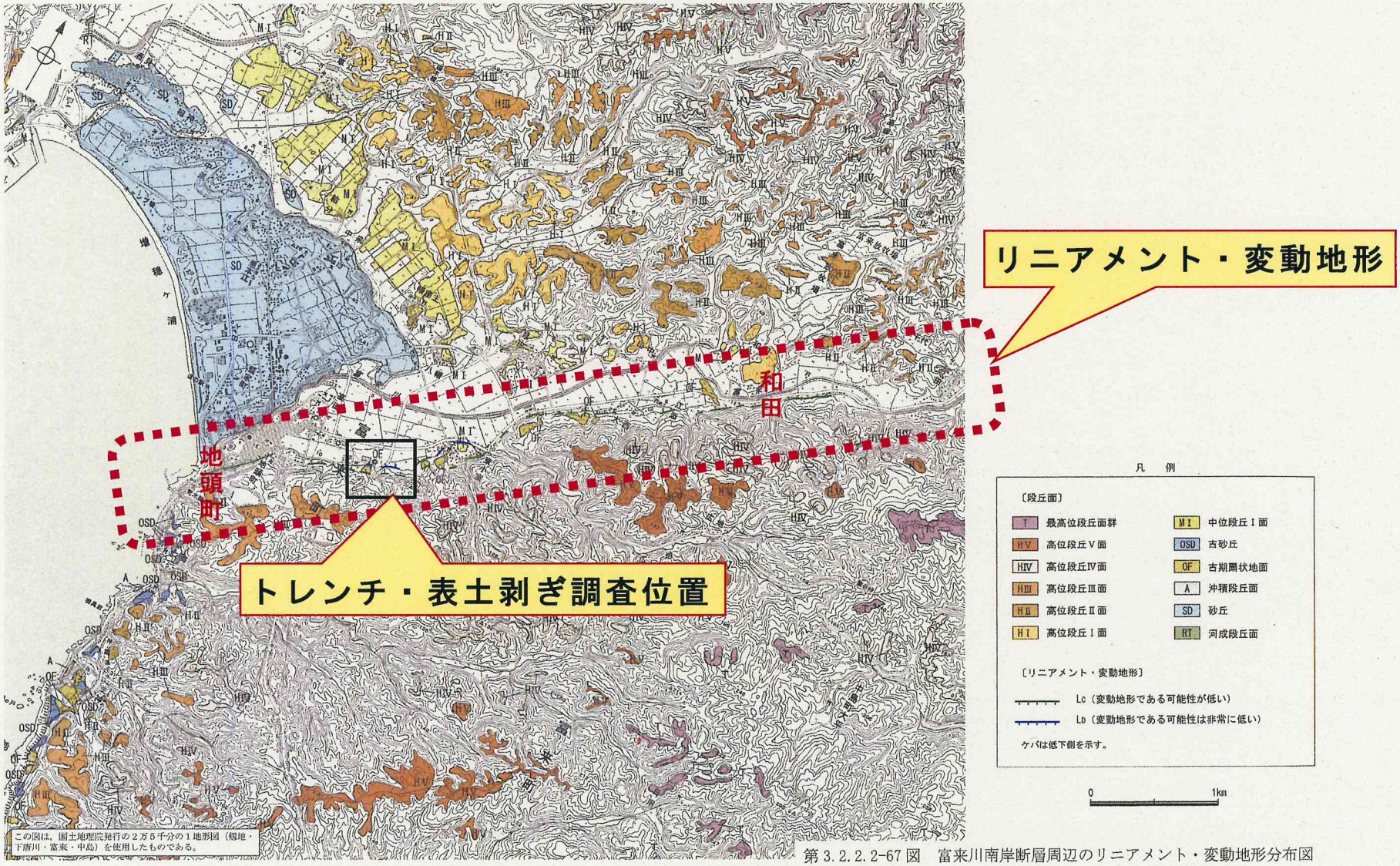
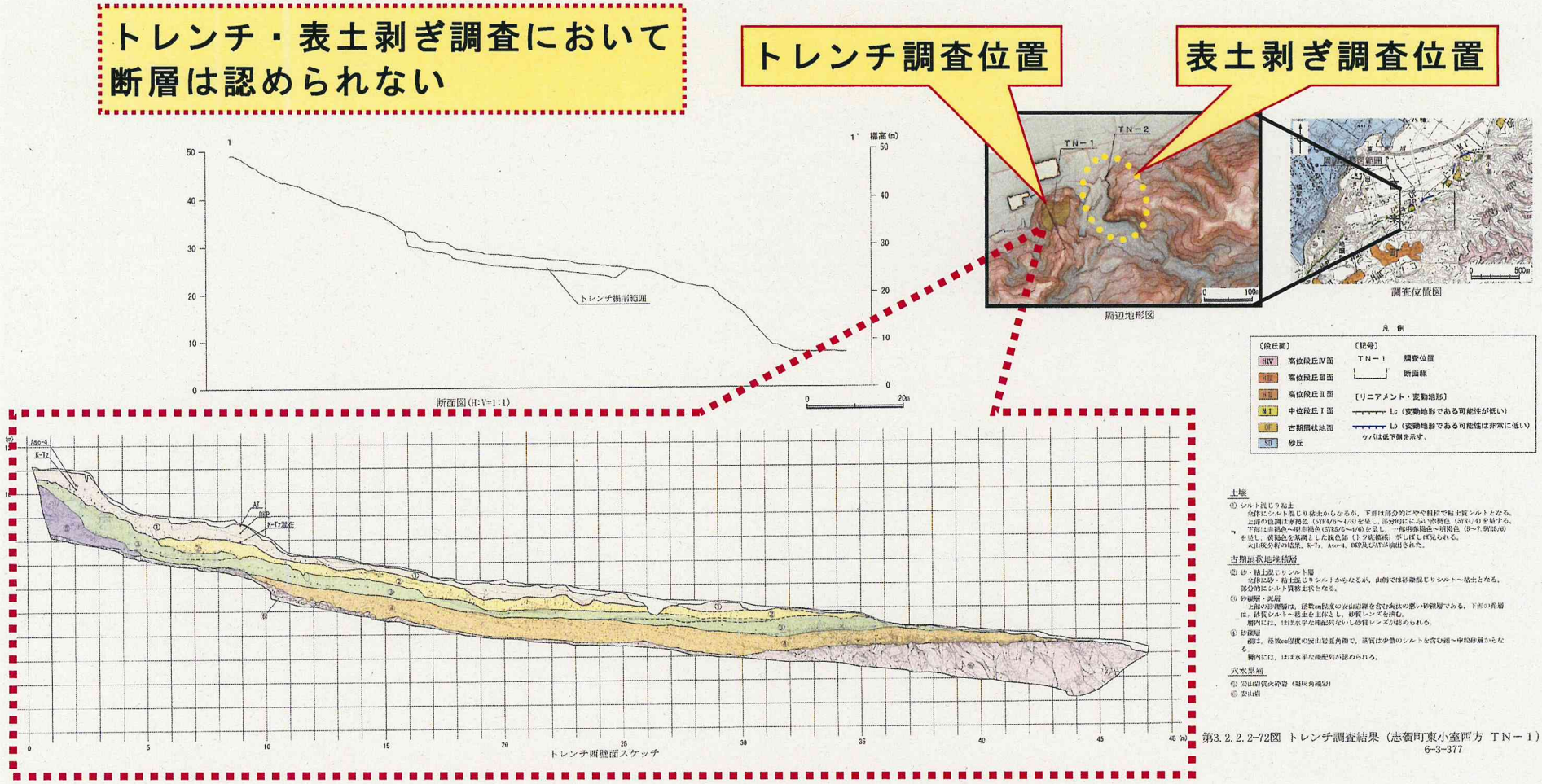


別図１　海域側（西側）から見た富来川南岸断層周辺の陸域地形の概要
（服部ほか（２０１４），小林ほか（２０１５）等に基づき作成）



第3.2.2.2-67図　富来川南岸断層周辺のリニアメント・変動地形分布図
6-3-372

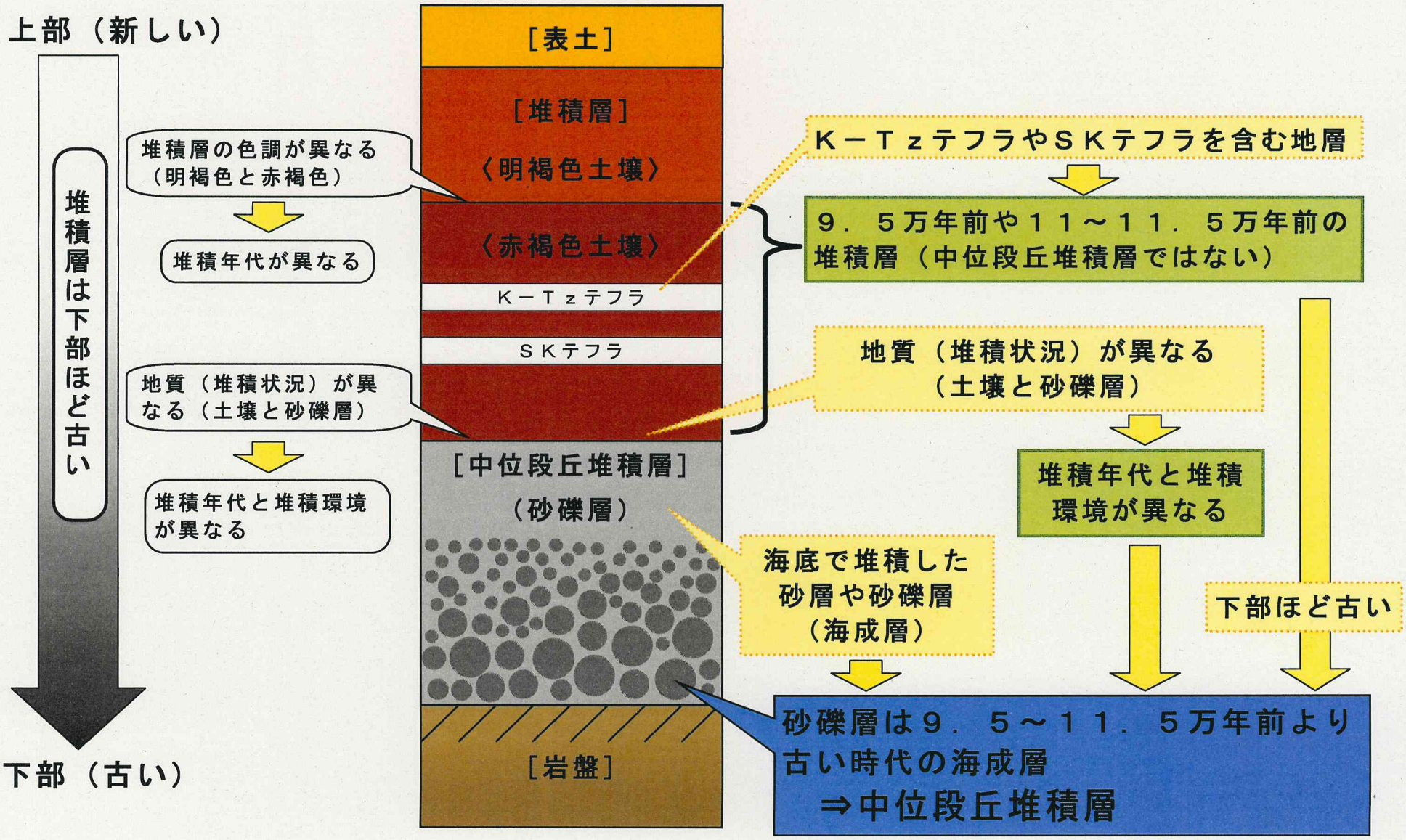
別図２　富来川南岸断層周辺のリニアメント・変動地形（乙Ａ４７の６－３－３７２頁に加筆）



第3.2.2.2-72図 トレンチ調査結果（志賀町東小室西方 TN－1）
6-3-377

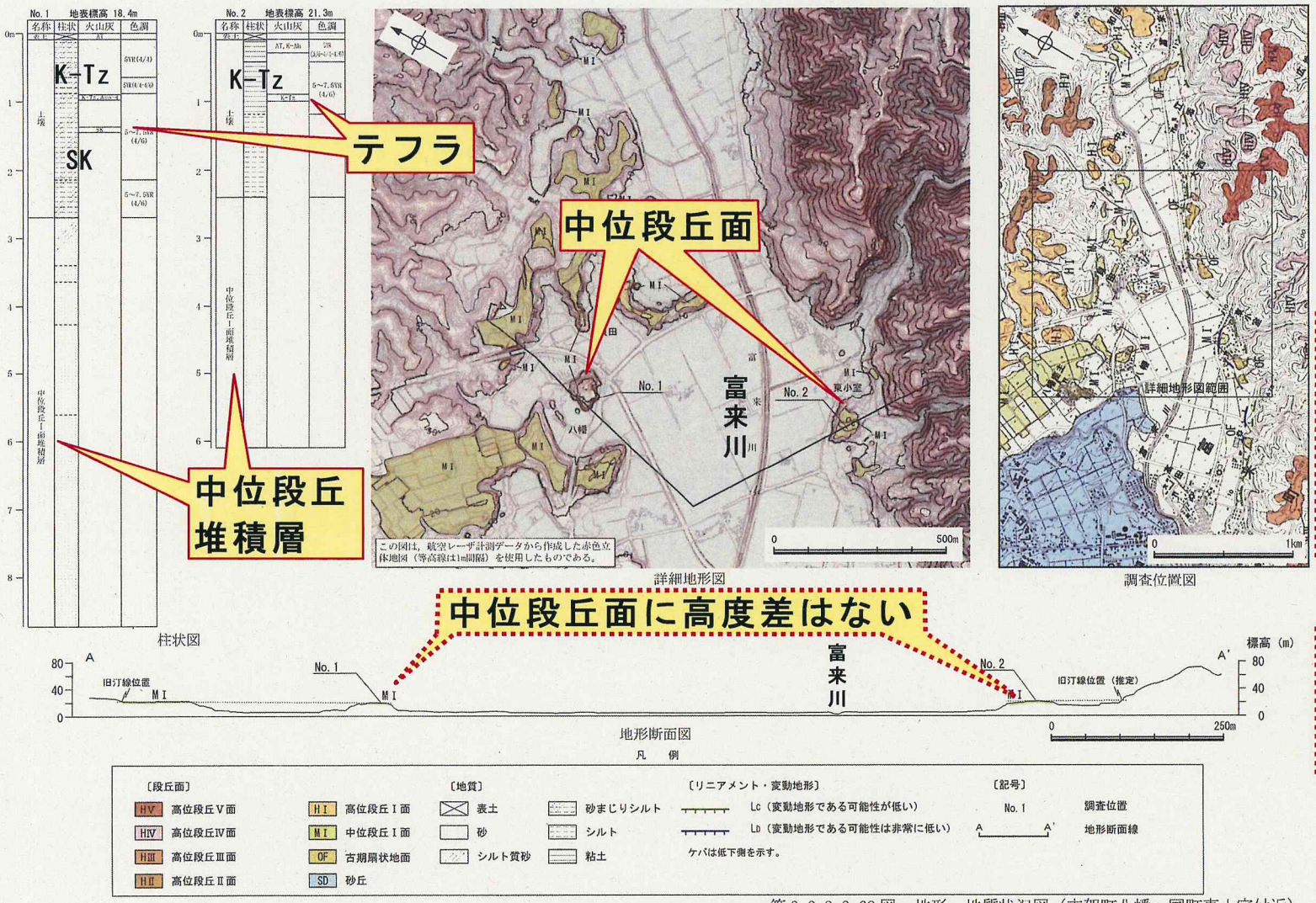
別図３　トレンチ・表土剥ぎ調査の結果によれば地下に断層は認められないこと

（乙Ａ４７の６-３-３７７頁に加筆）



＜中位段丘堆積層を含む地層のイメージ（柱状図）＞

別図４　中位段丘堆積層の認定

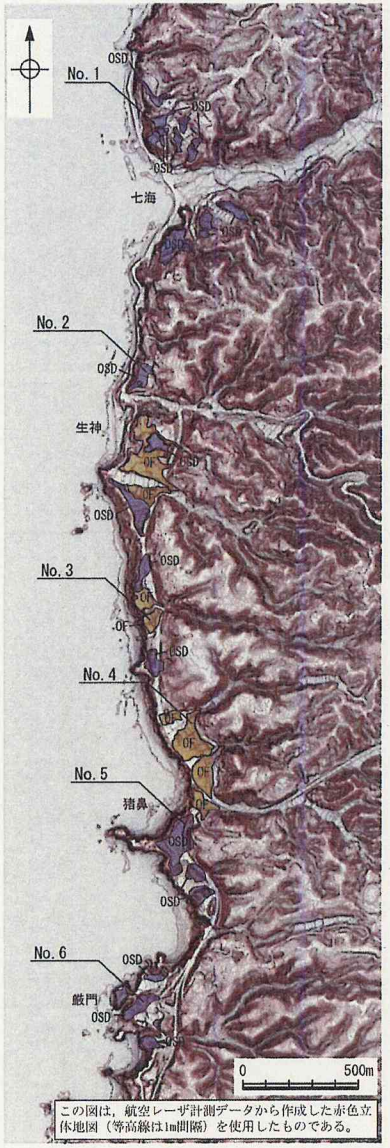


第3.2.2.2-68図 地形・地質状況図（志賀町八幡～同町東小室付近）
6-3-373

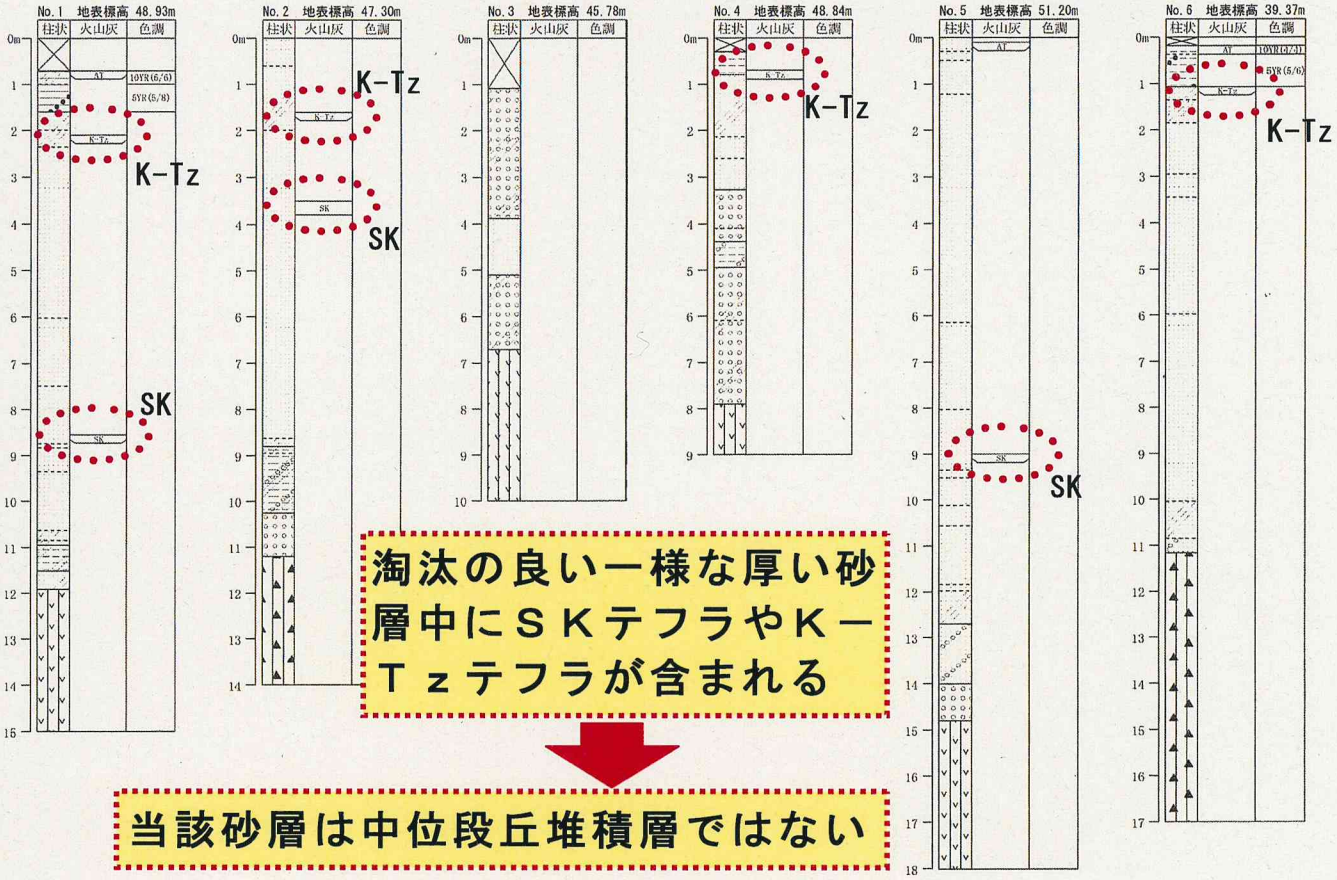
Ｋ－Ｔｚテフラ（約９．５万年前）を含む地層の下部に堆積状況が異なる地層が存在

中位段丘堆積層と判断することができる

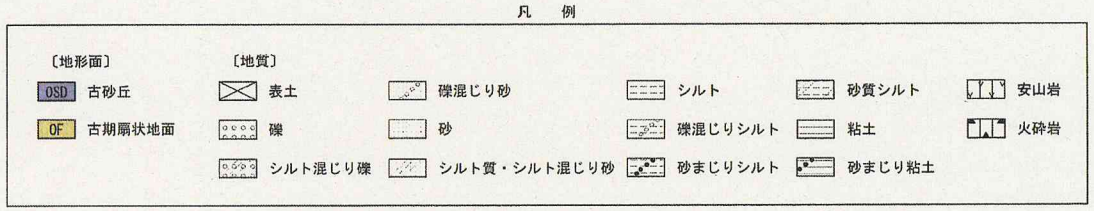
別図５　富来川を挟んだ両岸に分布する中位段丘面に高度差はないこと（乙Ａ４７の６－３－３７３頁に加筆）



詳細地形図



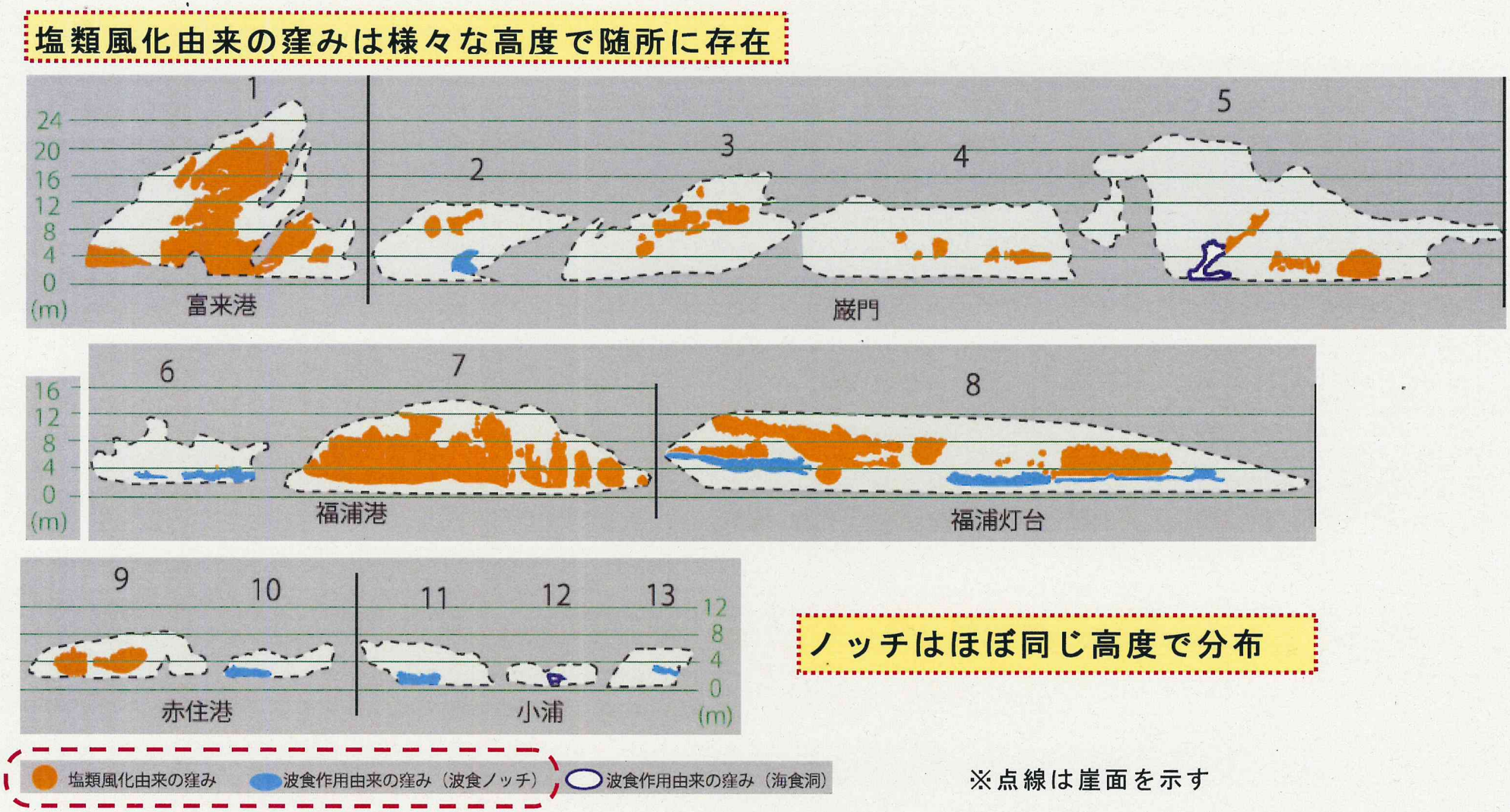
柱状図



第3.2.2.2-71図　ボーリング調査結果（志賀町富来七海～厳門付近）

6-3-376

別図６　南方丘陵部の砂層は中位段丘堆積層ではないこと（乙Ａ４７の６－３－３７６頁に加筆）



別図７　小林ほか（２０１５）による波食作用及び塩類風化由来の窪みの高度分布

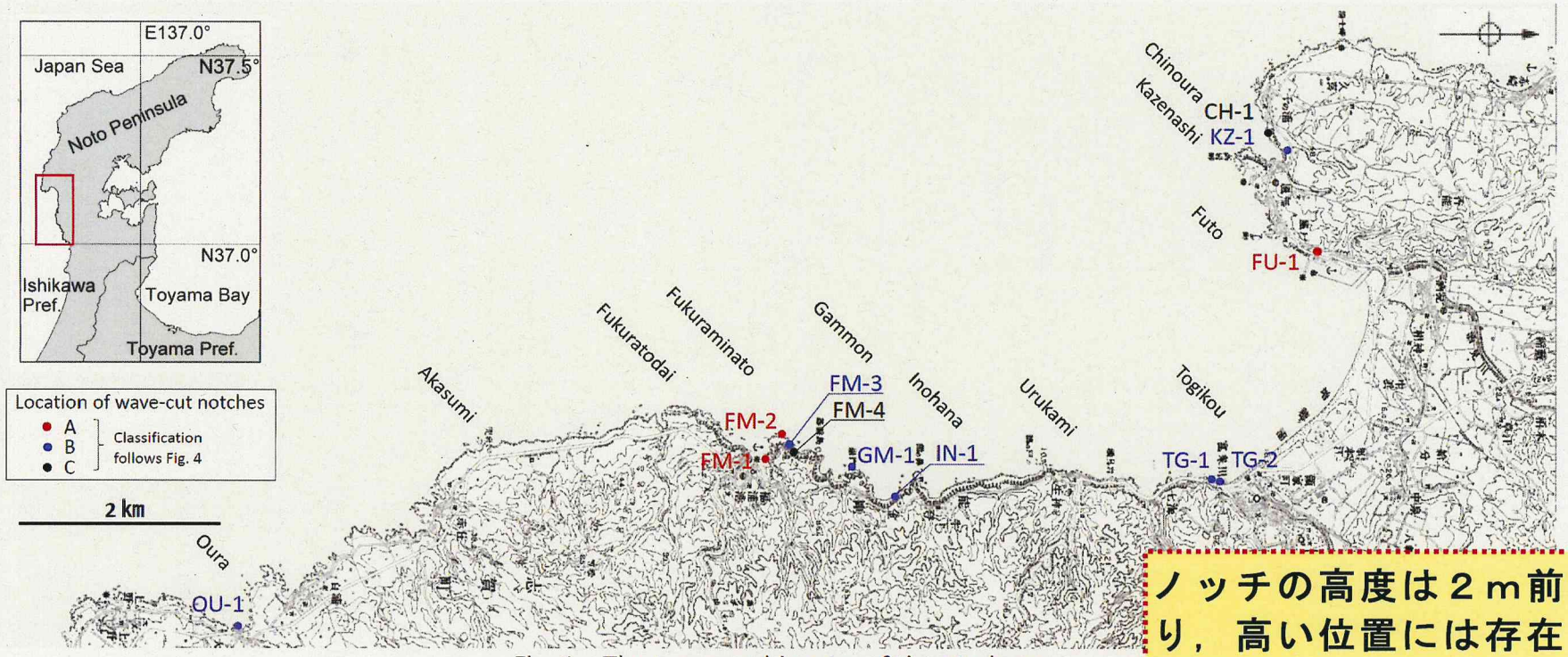


Fig. 1. The topographic map of the study area

ノッチの高度は２ｍ前後であり，高い位置には存在しない

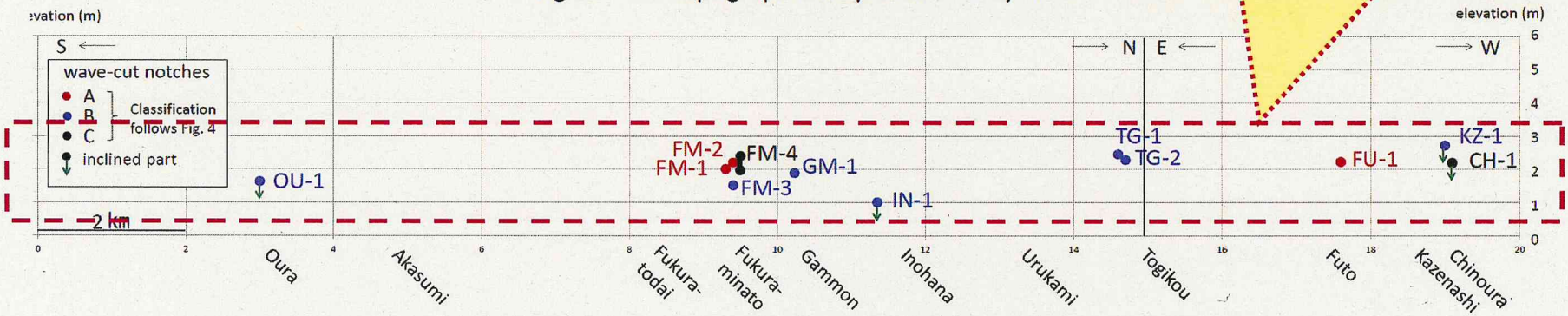
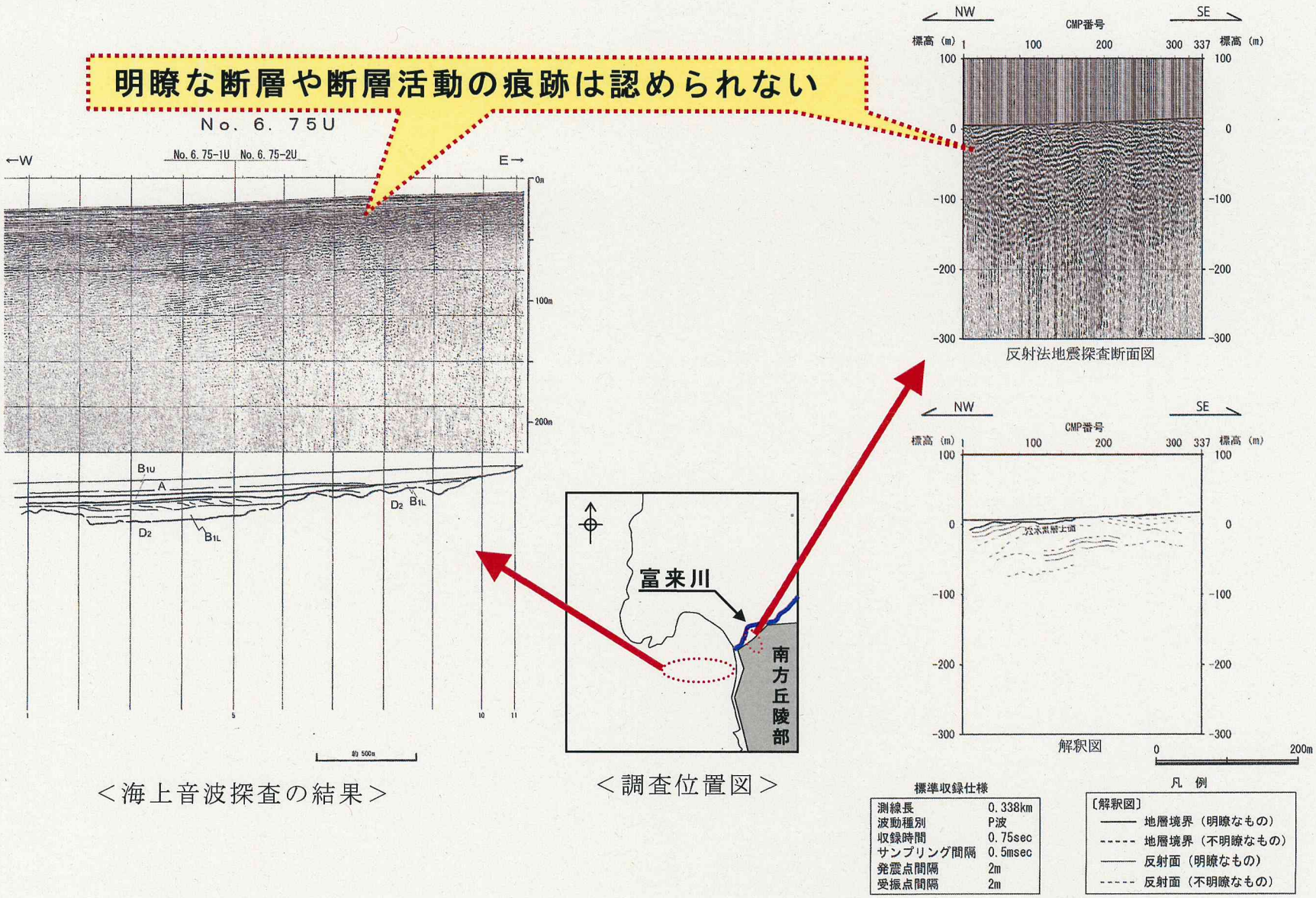
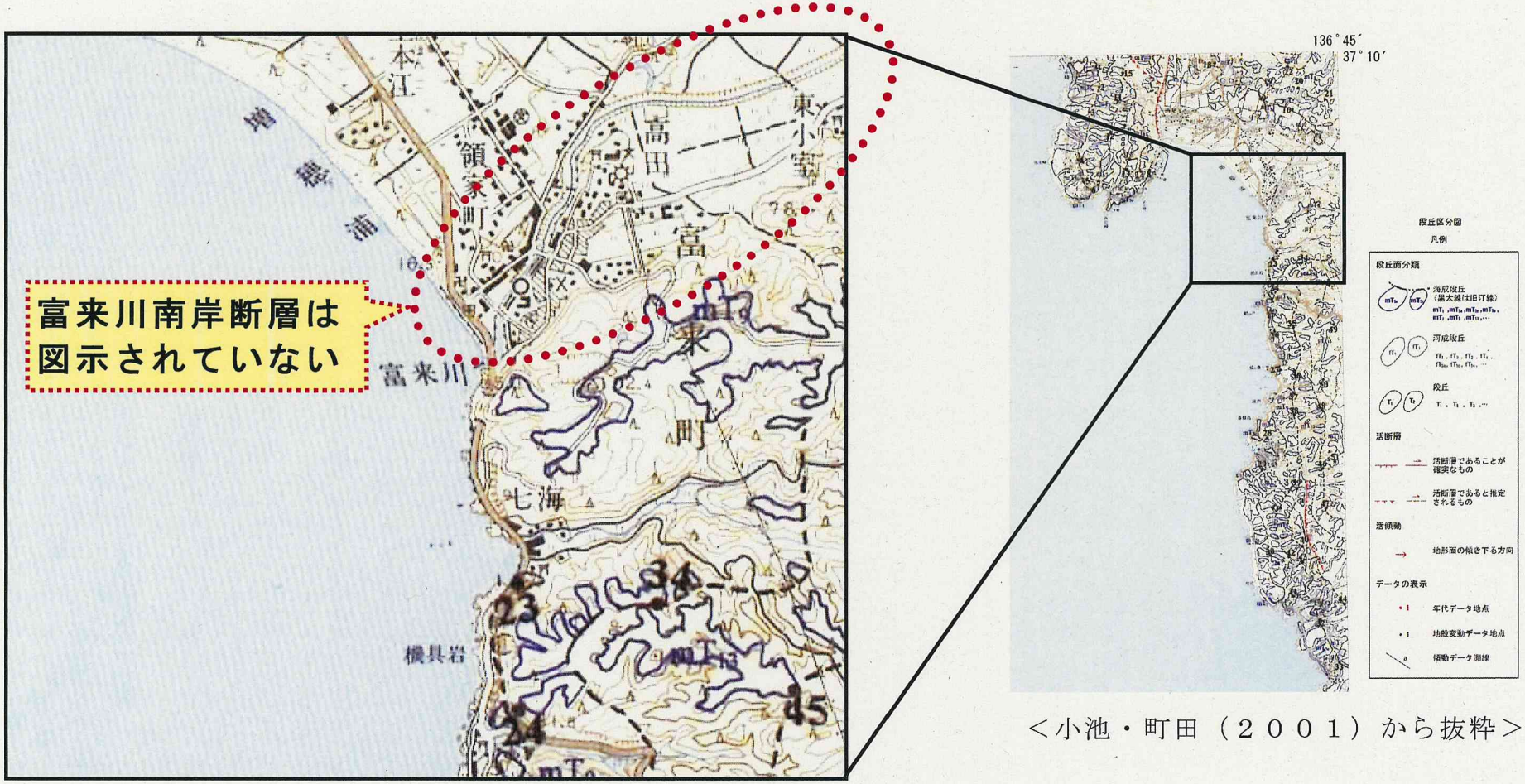


Fig. 5. Elevation of retreat point of wave-cut notches distributed in the study area.

別図８　小林ほか（２０１６）によるノッチの高度分布



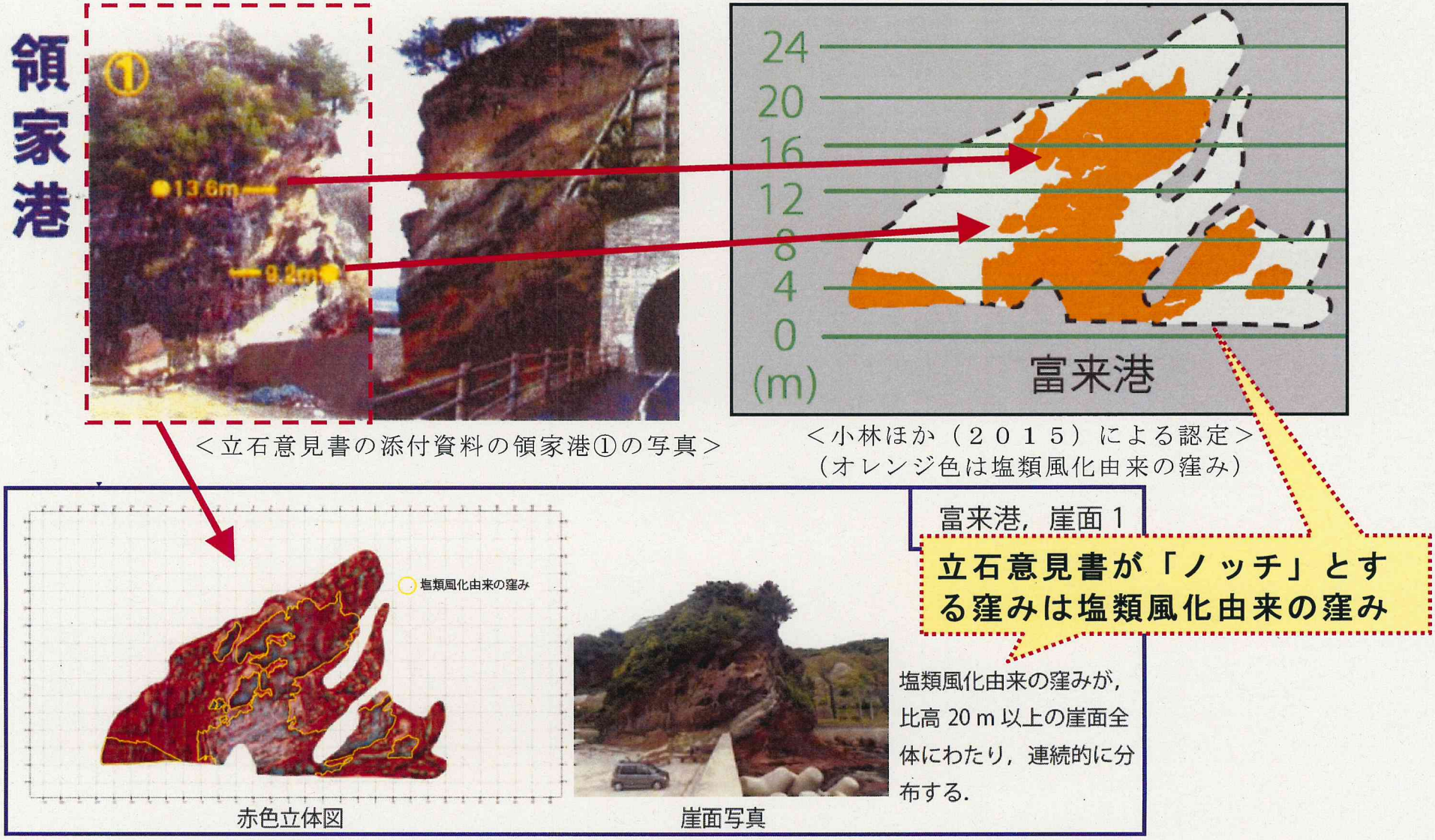
別図９　反射法地震探査及び海上音波探査の結果（乙Ａ４７の６－３－３７９，６－３－３８０頁に加筆）



＜拡大図＞

＜小池・町田（２００１）から抜粋＞

別図１０　小池・町田（２００１）における富来川付近



＜立石意見書の添付資料の領家港①の写真＞

＜小林ほか（２０１５）による認定＞
（オレンジ色は塩類風化由来の窪み）

赤色立体図

崖面写真

＜小林ほか（２０１５）における富来港の崖面の分析結果＞

別図１１　領家港（富来港）における窪みの認定